

**岳連ニュース**

**宝永**

URL: <http://www.shizuokakensangakulenmei.com/>

**静岡県山岳連盟**  
 〒422-8076  
 静岡市駿河区八幡3-1-17  
 TEL (FAX) 054-288-7512  
 編集発行/総務委員会  
 平成24年10月23日発行

「輝けはばたけだれもが主役」と銘打って開催された本国体は、岐阜駅前前の岐阜市文化センターで9月30日から10月2日の間開催された。本県からは、成年男子と東海ブロック予選を勝抜いた少年男子の2種別が出場した。期間中台風が通過するとの予報があり、大会日程を大幅に変更し、リード競技は予選・決勝を同時に行ったり、ボルダリングは夜行するなど、開催側の役員のご苦労が思いやられた。昨年の山口国体では実力を発揮できず苦しい経験をしたので、本国体では、成年・少年チームの選手はよく頑張ってくれた。結果は昨年と比べ成年が大幅に順位を上げたし、少年は

入賞までもう一步だった。来年を大いに期待したい。

**成男・少年チーム健闘**

下部9mは固定傾斜の前傾壁、そこから6mは大きく張り出した傾斜を登るもので、グリードは推定13ab。マツチを含めて45手のルート。倉島は36手目をつかんで、伊藤は38手目を取りに行つてフォール。成績は昨年より大幅に順位を上げ、良く健闘した。入賞ラインに届くためには、それぞれの種目においてエー



ボルダ成男チーム

**山岳選手団**

総監督	博之 滝田
監督	明 諸戸
選手	将吾 倉島
選手	裕貴 伊藤
監督	秀也 米山
選手	匡律 田邊
選手	隣生 吉田

**成男 諸戸監督**

第一課題 (完登率62%)	第二課題 (完登率53%)
第三課題 (完登率5%)	第四課題 (完登率0%)

**天皇杯順位**

1	千葉
2	北海道
3	山口
4	埼玉
5	岐阜
6	栃木
6	長崎
8	長野

今年度の競技会場はJR岐阜駅から徒歩10数分の市街地で行われた。リハ大会や練習日などは、市民が足を止め壁や選手を見上げ、写真を撮り市民の関心を獲得するには効果があつたように思う。大会は台風の接近が確実となり、予定が変更された。少年はリード競技の予選が無くなり、決勝のみとなった。リードは吉田がハンガーを踏んだとジャッジされ、得点が伸びずに12位にとどまった。グリードも高いが、どちらかに完登があり、2人目も完登付近でな



リード少年チーム

いと8位に入るのには難しい。ボルダリングは惜しくも9位という結果だが、ムーヴの読みや、慣れ、体幹の強さだったりと考ええると、決勝進出には大きな壁があると感じる。クライミングがオリンピック候補種目の一つとしてメディアに取り上げられ、競技人口の拡大や人気拡大に貢献

**6月常任理事会**  
 指導 工藤氏 遭対堀内氏  
 6月18日、総会後初めての常任理事会を労働会館で開いた。役員改選後の初顔合わせとなり、各自、自己紹介をし会議に入った。

一 報告事項  
 二 各委員会の委員  
 各委員会に所属する常任理事の名前と委員会の事務事業が提案された。指導委員長には工藤誠志氏、遭対委員長には堀内修氏が就任した。なお、新委員による委員会を早急に開くよう意見が出た。

三 スポーツフェスティバル  
 総会時配布した要項のとおりで会場の使用許可完了、今後現地調査を行う予定。

四 東海ブロック大会  
 7月21日、22日に開催。愛知県が担当でボルドは豊橋市、リードは岐阜市の国体会場。五 全日本登山大会  
 10月27日-29日、福

井県で開催。参加できる方はよろしく。六 岳連カレンダー  
 世界の名峰を350部作成。9月頃から配布の予定。

**9月常任理事会**  
 活動方針確認  
 9月3日、常任理事会が静岡労働会館にて開催された。

一 各委員会の報告  
 ① 指導委員長の報告  
 ・指導委員会の活動強化について報告  
 ② 遭難対策委員長の報告  
 ・日山協遭対総会報告  
 ・中部地区山岳レスキュー講習会報告  
 自己責任と山のルールについて  
 ③ 国体委員長  
 ・東海ブロック大会の報告  
 ・岐阜国体の選手について報告  
 二 各委員会の事業計画  
 ① 指導委員会  
 24年度指導委員会の活動方針について発表、各種講習会の開催準備を計画、安全登山指導について。

② 遭難対策委員会  
 24年度遭難対策委員会の活動方針について山岳レスキュー講習会について検討  
 ③ 国体委員会  
 高校クライミング大会、竜爪競技会の計画  
 三 スポーツフェスティバル  
 11月17日-18日湖西連峰で開催  
 四 岐阜国体監督の承認  
 総監督、滝田会長、成男諸戸、少年米山

五 全日本登山大会福井県、参加要請あり。六 25年県岳連カレンダー・一部一五〇〇円  
 七 その他  
 ① 冬山講習会25年2月2日-3日  
 ② 競技部研修会  
 25年2月23日-24日会場静岡市  
 ③ 岳連ニュース「題字」を「宝永」にした。了承  
 ☆意見 各会に1部では少ない。検討する。

**山岳遭難が最多**  
 7月-8月全国  
 今年7月-8月の夏山シーズンに全国で発生した山岳遭難は552件(前年同期比66人増)、遭難者は676人(同106人増)であった。警察庁が統計を取り始めた1968年以降で最多となった。死者、行方不明者は36人で昨年同期に比べて25人減であった。このうち中高年の遭難者数は469人(同31人増)と全遭難者の69.4%の高い割合を占めている。中高年の登山ブームで登山者数が増加する中、発生件数も増加傾向が続いている。都道府県別では、長野県117件、富山県60件、静岡県49件の順であった。山域別では、北アルプスが169件、富士山35件、南アルプス29件で富士山の遭難が目立っている。遭難

の態様別では「道迷い」が最も多く、「転落・滑落」「転倒」の順で疲労・病気も20%を占めている。県内の状況は、県警地域課のまとめによると、発生件数は前年と同数の49件。遭難者は18人増の69人、死者・行方不明は5人減の1人であった。十分な事前準備をせず、安易な気持ちでの登山が遭難に繋がっているようだ。

**編集後記**  
 岐阜国体が終わる、開催県の優勝はならなかった。予選なしで全種別出場できる特典が与えられているが、選手の出場の向上が著しく「地元有利、地元が優勝する」は厳しくなつた。市街地の中心で、庇状の壁を蜘蛛のように登る選手を見て山岳競技という名称に違和感を感じたのは小生だけではないだろう。(tk)

# 平成24年度指導委員総会

## ハイキングリーダー資格

### 平成25年度導入

去る6月9日、10日の2日間日山協指導委員の総会と研修会が東京晴海の東京海員会館で、全国41都府県から49名の代表が参加し9日が研修会、10日が総会

の日程で開催された。冒頭、八木原副会長から、最近、登山の基礎を教えることのできない団体がある中で、指導員の役割に期待すると共に公益法人とし

て様々な登山者に対応できるように協議して欲しいと挨拶があり、永井委員長から、日山協独自の「ハイキングリーダー」資格を25年度からの導入を目指し検討中と、又25年度から指導員の登録更新作業は各県岳連が直接日山協のシステムに義務研修の承認申請と実績報告

と挨拶があった。今後の資格更新手続きの通知は、日山協で義務研修の参加が確認できた者のみ直接送付される。日山協に届けた住所等が変更している場合は注意が必要だ。各自が、ネットで確認する必要がある。研修会の内容と総会の議題は左枠内のとおり。

東海ブロック会議  
日山協理事決まる

東海ブロック会議が6月15日名古屋市内で開催され、滝田会長、木ノ内理事長が出席した。

24年度の理事の選出と今後の理事の選出方法について会議がもたれた。

24年度の理事は愛知の安藤副会長に決定した。さらに今後の理事は日山協の経営に参画することになり、理事任期の2年では支障が生ずるとの意見から、2期4年とし各県を輪番制で回すことにした。ローテーションは愛知→三重→静岡→岐阜の順となった。

任期途中で代わる場合は、当該県から残任期間の理事を選出。

25年〜28年は三重の亀井副会長が受諾した。そのほか理事会の内容は、総会の内容と差異がないため各県に連絡しないとし、特にブルックの意見を求められる場合のみ、4県で協議することとした。

### 研修会

- 1) 公認指導者更新登録に伴う義務研修システム
  - ・平成25年10月から完全実施される。
  - ・義務研修制度をスムーズに実行し、維持するために新登録管理システムが構築された。このシステムを利用し、県岳連の承認された担当者が入力を行う。(実施時を検討中)
  - ・システム利用者は、県岳連で2名の申請(登録)ができる。(アカウント有効期限は、1年とし毎年更新する。)
- 解説
  - ・公認スポーツ指導者の登録有効期間は4年、更新時の手続き(義務研修受講)を行わない場合は資格を失う。
  - ・更新のための義務研修は、6か月前までに終了する必要がある。
  - ・義務研修会の実施団体(日山協が行う研修会:指導、遭対、その他)、日体協及び日山協に承認された県岳連が実施する講習会又は研修会。(3時間以上確保されていること。)
  - ・義務研修を受講していないと登録証更新案内・通知書が日体協から送付されない。(1年未満:保留、1年以上は再登録)
- 2) ハイキングリーダー制度制定の状況 説明
  - ・現在、作業中、ある程度まとまったら意見をお聞きたい。
  - ・概ね、1,500m程度の山域、雪の無い季節・場所、日帰り、行動時間5〜6時間程度、主に一般コースと呼ばれ、山と高原地帯などに実線で表示されている比較的安全性の低いコース、特殊な道具を用いず通常の道具のみで歩く形態を想定。
- 3) 研修:スポーツ店員からみた、最近の山ガールの動向(カモシカ横浜店:都岳連会員:上村絵美さん)
  - ・最近の若い登山者についての話があった。オシャレ:服装にこだわりを持っている。堅実性も出ている

### 総会

- (1) 平成23年度指導委員会事業報告
- (2) 平成24年度指導委員会事業計画
- (3) 平成24年度指導委員会が実施する義務研修会
- (4) 登攀研修会・主任検定員養成講習会のH24年度開催県(三重)確認とH25年度開催県の選定
- (5) SC指導員養成講習会について
- (6) 規約・規定集の改定(平成24年度版)
  - ①財団法人⇒公益法人 ②復活⇒再登録 ③第6・7条 全面改正
- (7) AC上級指導員検定基準改訂
- (8) SC指導員検定基準改訂(平成24年度版)
- (9) 日体協・スポーツ指導者オフィシャルブック改訂
- (10) 主任検定員(A級、B級)について
  - ①H24年度氷雪技術講習会及び上級指導員・主任検定員養成講習会(山梨県富士山)は、3月に行わない。
  - H25年 4月28、29日に実施する。(3月は、車も入れなく緊急時の対処が出来ないため。)
  - ②H25年度栃木県 上級指導員・主任検定員養成講習会 10月頃
  - ③B級検定員について(※指導員を検定する)
- (例) 剣岳を案内するには(「剣カニの横・縦直い」、リードできることを想定)
  - ・残雪期におけるアイゼン歩行・ピッケル技術(三点支持)、無雪期の鎖場通過時のフィックスロープの設置と簡易ハーネスの自作・指導・リード出来る。
- (11) 公認スポーツ指導者資格再登録にかかる事務手続き手順
  - 資格:有効期限切れて1年未満の場合は「資格保留期間」とし登録に関する書類が送られる。
  - ・1年以上経過した場合に再登録が必要になる。

# 中村三位

浜松 曳馬中

## 女子ユースB

### 第15回JOCジュニアオリンピック

第15回JOCジュニアオリンピック大会クライミング競技が、8月11日〜13日、富山県南砺市の桜ヶ池クライミングセンターを会場に行われた。大会は将来、オリンピックや世界大会で活躍の出来るジュニアの発掘育成を目的に開催されている。

クライミングの裾野が広がり、ここ数年は出場人数に制限が設けられ、県単位で男女あわせて7名の出場が認められている。各カテゴリーによって異なるが、ユース世代の台頭が著しく、高いグレードを有する選手が多くなった。

静岡県は男子ユースAに5名(田邊・吉田・鈴木・伊藤は浜松日体高、大嶋は富士宮西高)、女子ユースBに2名(北脇は浜松日体中、中村は曳馬中)、女子ユースAでは吉田が10位、田邊が12位、鈴木が14位、伊藤・大嶋が25位。女子ユースBでは中村が3位、北脇が10位。女子ユースAは青木12位、望月が13位。(初日がインターハイの日程と重なった

ため1本目を棄権せざるを得なかった) 吉田と中村が決勝に進出できたことは明るい材料であった。特に中村は粘り強いクライミングスタイルで実力を遺憾なく発揮し、カテゴリー3位は素晴らしい結果であり、将来の活躍が期待できる選手である。(米山)

今年も岳連の収益事業の一つとして、平成25年版のカレンダーを作成し販売している。岳連の財政健全化に貢献して欲しいと、加盟団体や役員に購入を呼びかけている。

作成部数は350部で、今年も岳連の収益事業の一つとして、平成25年版のカレンダーを作成し販売している。岳連の財政健全化に貢献して欲しいと、加盟団体や役員に購入を呼びかけている。

ジュニアに2名(青木・望月は富士宮西高)計9名の選手を送った。(内、田邊と吉田はシード)

選手は決められたルートを2本登り(フラットシュ)、その順位合計で決勝進出者を決める。他人の登りが見られるのだが、逆にミスが許されなくなる。また核

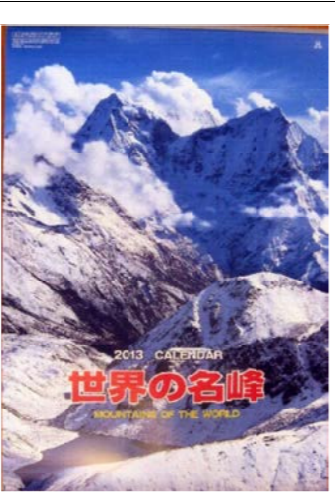
心部も、どのように解決していくかは、自分に合ったムーブを選択もしくは完全なコピーをしなければならぬ。事前にあまりに多くの他人の登りを見ても混乱をきたす事にもなる。

男子ユースAでは吉田が10位、田邊が12位、鈴木が14位、伊藤・大嶋が25位。女子ユースBでは中村が3位、北脇が10位。女子ユースAは青木12位、望月が13位。(初日がインターハイの日程と重なった

ため1本目を棄権せざるを得なかった) 吉田と中村が決勝に進出できたことは明るい材料であった。特に中村は粘り強いクライミングスタイルで実力を遺憾なく発揮し、カテゴリー3位は素晴らしい結果であり、将来の活躍が期待できる選手である。(米山)

# カレンダー販売

## 世界の名峰 平成25年版



定価は千五百円、デザインは世界の名峰シリーズ。

購入希望の方は、FAX 054-288-7512 TEL 090-8155-3340 mail sma-takida@uv.tnc.ne.jp

## 南ア夏山相談所開設

### 畑薙臨時駐車場

山岳会会員を中心に県岳連及び市岳連から指導員を派遣し、登山者の相談、指導及び天候や登山道の状態などの情報提供を行い安全登山の一翼を担った。

今年度の夏、静岡から畑薙に入る道路は、富士見峠を越える道路はまだ復旧のめどがたつておらず不通で、千頭から井川に入る林道も大雨のた

た方や軽傷の方など、南アルプス全体では29件の事故があった。(滝田)

この夏の事故は、病気で亡くなった

入山者が4419人、下山者が3807人であった。

## 行事予定

- 一第52回冬山講習会 25年2月2日〜3日 富士山双子山周辺
- 二冬山講習会講師打合せ 25年1月27日 静岡リハ専門学校
- 三東海ブロック研修会 25年2月23日〜24日 静岡市
- 四竜爪山岳競技会 12月16日集合平山コース平山から薬師岳

